

一人ひとりの子どもに寄り添う教育を目指して

奇楽 木格 (筑波大学大学院／人文科教育学)

Taara zameen par

～ Every Child is Special ～

- ◆ 種別：DVD (映画)
- ◆ 監督：アーミル・カーン
- ◆ 脚本：アモール・グプタ
- ◆ 製作年：2007年
- ◆ 製作国：インド
- ◆ 時間：本編 165分



絵：蔡奇乐木格

あらすじ

8歳のIshaanは留年し2度目の3年生の夏を迎えても、読み書きどころかアルファベットさえ正しく読めない。親からも見放され、寄宿学校へ転校することになる。そこでIshaanは厳しい規律に脅かされ、徐々に他の児童と足並みを揃えていくが成績は変わらない。体罰は日常茶飯だ。家族を離れた寂しさと周囲に追いつけないつらさの中で、心を閉ざし、無口になり、大好きな絵画への興味さえも失う。

ある日、新しくやってきた芸術教師Nikumbh先生との出会いが彼の人生を変えていく。

シーン再現

<Ishaanの父親が寄宿学校を訪れ、Nikumbh先生と話し合う場面。母親が識字障害に関して調べたと主張する父親に、Nikumbh先生は例を挙げてIshaanの状況を説明する>

父親：では、そろそろ失礼します。

Nikumbh先生：奥様はインターネットでソロモン諸島の話をご覧になったでしょうか。

父親：いえ、聞いていませんが。

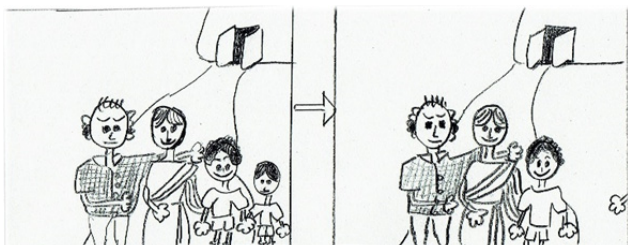
Nikumbh先生：ソロモン諸島の先住民は、森を開墾して畑を作るとき、木を伐採しないんです。彼らは木の周りに集まり、その木に罵声を浴びせ悪態を付くんです。そして何日か経つと、その木は弱って枯れてしまうそうですよ。(On Solomon island, when the natives want a part of the forest for cultivation, they don't cut the trees. They simply gather around the tree, and shout abuse at it, curse it. In a matter of days, the trees withers and shrivels.)

※ 日本語訳は筆者による

Chapter

- | |
|-----------------------|
| 1. 近隣との不和／9'36 |
| 2. サボった一日／18'47 |
| 3. 休暇届事件／13'08 |
| 4. 寄宿学校生活／26'46 |
| 5. 新しい先生の到来／14'25 |
| 6. Nikumbh先生の大発見／9'36 |
| 7. 家庭訪問／13'49 |
| 8. 心を込めた授業／24'01 |
| 9. 絵画大会の優勝／17'36 |
| 10. 夏休みの開始／1'07 |

※ チャプター情報は内容に基づき筆者が作成した



主人公の Ishaan は、自分だけが家族から離れてゆく寂しさを絵に描いていた。(絵：蔡奇乐木格)

学校の教師や親は、教育するうえで、子どもたちに大きな期待を持つ。一方で、教師や親の要求に応えられない子どもに対して、時には匙を投げてしまう側面も否定できない。そのような選別のプロセスの中で、ある程度期待に応えられる平凡な子どもが残され、非凡な子どもは「問題児」扱いされることも多い。ひ

ょっとするとどこか一面に特別な潜在能力を持つような子どもも、「問題児」扱いされてしまう。しかも、「問題」がはっきりされないまま、「追放」される恐れがある。

本作品の主人公 Ishaan には、識字障害（ディスレクシア）がある。文字をひっくり返して記憶する、大小、距離、速度の感知能力が弱いなど、学習から日常生活まで様々な困難を抱えている。彼は自分の抱えている問題を自覚する手段を持たず、誰にも理解されずに戸惑いの日々を送っていた。

Ishaan に対する親や教師の態度、対策は不適切かつ過激であった。「怠惰だ!」、「恥知らずだ!」、「読み書きをやらない言い訳だ!」等と決めつけて、彼を罵った。このような非難を受け続けた結果、Ishaan の持つ唯一の楽しみであり、エネルギーの源泉であった想像力までもが奪われてしまう。かつて鮮やかだった世界が絶望と闇に覆われていく。

「シーン再現」の場面で芸術教師 Nikumbh 先生が語ったように、罵声や悪態によって樹木さえも命を落としてしまう。子どもであれば、どうだろうか…考えてみて欲しい。もし Nikumbh 先生との出会いがなければ、Ishaan の人生はどうなっていただろうか。Ishaan に寄り添い、悩みの原因や解決法を共に考えてくれた Nikumbh 先生は、自らが幼い頃からの識字障害を克服した教師であった。

識字障害に限らず、子どもは成長するプロセスにおいて、多数かつ多様な問題に直面し、乗り越えていかなければならない。大人にとっては些細なことであっても、子どもは大きな悩みを抱えているかもしれない。誰もがかつて子どもだった経験があり、周囲の人々に支えられながら成長してきたのではないだろうか。そのことを想起すれば、子どもの抱える問題により寛容に、辛抱強く向き合うことができるはずである。

とりわけ子どもの成長に決定的な役割を果たしている親や教師には、子ども一人ひとりの抱える問題に寄り添い、理解しようと努めて欲しい。これによって子どもは、個性や潜在能力を押し潰されることなく、伸び伸びと成長することができるだろう。

Information

本作品は、インドの人気俳優であるアーミル・フサイン・カーン（Aamir Hussain Khan）の主演、初監督作品である。英語版は“Like Stars on Earth”のタイトルで Disney's international から DVD が出版されているが、日本語版はまだ販売されていない。同じくアーミル・カーン主演作には、次の作品がある。【DVD】『きっと、うまくいく』監督：ラージクマール・ヒラーニ、制作国：インド、制作年：2009、販売元：ハピネット。